

■科目名			
教育制度論【他学部生向け】 Educational System			
■開設年度	■区分	■学科名	■分類
2021	教職に関する科目【他学部用】	教育学	
■単位数	■履修期	■履修条件	■開講期
2	5期	以降	前
■担当教員			
(前期) 栗原 真孝			
■代表教員名及び連絡先等			
maedaaki@edu.kagoshima-u.ac.jp			
■オフィスアワー			
学外講師のため教育学科前田 (maedaaki@edu.kagoshima-u.ac.jp) まで問い合わせること。			
■講義の概要(目的・内容・方法)			
本講義は、現代の学校教育に関する制度的事項について、基礎的な知識を身につけるとともに、教育制度に関連する課題を理解することを目的とする。まず教育制度について基礎的な内容を理解する。次に、教育制度を支える教育行政の理念と仕組みを理解した上で、教育行政の歴史的変遷を確認するとともに、教育行政活動の実態を理解する。最後に、現代の教育制度に関連する諸課題について、海外の事例を含めて理解する。			
■授業の到達目標及びテーマ			
1. 教育制度に関する基礎的な知識を習得することができる 2. 教育制度に関する現状(実態)と課題を正確に把握することができる 3. 教育制度に関する課題の解決に向けて主体的に考察することができる			
■授業計画			
1. オリエンテーション—教育制度とは?— 2. 教育政策の動向と教育課題 3. 公教育の原理と理念(日本国憲法と教育基本法) 4. 戦後の学校制度 5. 戦前の学校制度 6. 中央と地方の教育行政機関 7. 教育委員会制度の歴史的変遷 8. 教育課程行政 9. 教職員の制度 10. 教育政策と政治 11. 近年の教育改革 12. 教育委員会・学校・地域の連携 13. 学校安全への対応 14. 海外の教育政策の動向 15. 本講義のまとめ			
■授業外学習(予習・復習)			
次回の講義までに、必ず前回の講義内容について確認・復習しておくこと			
■受講要件			
3年生以上を対象とする。			
■成績の評価基準			
レポート60%、コメントシート30%、授業態度10%			
■教科書・参考書			
教科書は特に指定しないものの、適宜資料を配付する。参考書は以下のようにになっている。 小松茂久編『教育行政学〔改訂版〕』昭和堂、2016年。 古閑章・栗原真孝編『新薩摩学14 人口減少社会・鹿児島の教育のゆくえ』南方新社、2020年。			
■教師としての資質能力に関するチェック項目			
2. 教育の理念、制度、歴史等に関する理解 【A教職の理解】教育の理念を理解し、教育の制度や歴史・思想に関する基礎的な知識を身に付けている			
アクティブ・ラーニング			

その他；

アクティブ・ラーニング（その他）

アクティブ・ラーニング(授業回数)

2

■実務経験のある教員による実践的授業

■その他